3 カ年計画進捗状況

中野小学校では平成 25 年度に平成 27 年度を最終年度とする「運営に関する計画 3 カ年計画」を策定、大阪市教育振興計画が 1 年延長となった事で中野小学校の計画も 1 年延長する事となった。中野小学校の 3 年間の取り組みと 4 年目の状況、そして次の目指すものについてまとめてみた。

【平成 25 年度】

学校運営の中期目標

『視点　学力の向上』

〇学習到達度診断における正答率 8 割以上の児童の割合を、毎年全学年で前年より向上させる。

〇学校生活アンケートにおける「調べたり発表したりする学習は好きである」の項目について「よくあてはまる(あてはまる)」の割合を 80%以上にする。

〇平成 27 年度の学校生活アンケートで「授業が分かりやすい」と答える割合を 80%以上にする。

〇学校生活(保護者)アンケートにおける「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と答える保護者の割合を平成 27 年度末までに 80%以上にする。

『視点 道徳心・社会性の育成』

〇平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「学校のきまり・規則を守ってますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える割合を 90%以上にする。

〇全国学力・学習状況調査の結果において、「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」の割合を全国平均以上にする。

〇平成 27 年度の学校生活(保護者)アンケートにおける「学校は情報公開をよく行なっている」と答える保護者の割合を 85%以上にする。

『視点 健康・体力の保持増進』

〇平成 27 年度における校内体力調査において、特に課題のあるシャトルランの記録を平成 24 年度の全国体力調査・運動能力、運動習慣調査より向上させる。

〇平成 27 年度末の学校生活アンケートにおける「うがいや手洗いをしている」の項目について、「よくあてはまる(あてはまる)」の割合を 90%以上にする。

【平成25年度結果と総括】

『学力の向上』では、学習理解到達度診断で改善の傾向が見られ、学校生活アンケーでも「調べたり発表したりする学習は好きである」「授業が分かりやすい」は改善されているが、「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」で少し前年を下回った。
個別の取り組みに関しては、習熟度別少人数指導の取り組みが進み、図書室やパソコン室を活用しての調べ学習への取り組みも進んだ。
教職員関連では、全教員が1回の研修授業を行い、教員の資質向上につなげた。ただ、SKIPの活用に関してはまだまだ進んでいない。
学校行事等についてはたてわり班活動を増やす事で、各行事を楽しみにして学校に来る児童が増えてきたが、目標には達しなかった。

次年度への改善点として
〇習熟度別少人数指導のより計画的な取り組みを進めて行く。
〇学校全体で基礎基本の定着に向けてより具体的な取り組みを考え、取り組む。
〇児童により興味･関心を持たせるための教育環境の整備や指導方法の改善に取り組む。
〇今年度に引き続き、教員全員が年1回以上の研究・研修授業を実施する。
〇ICTやSKIPを積極的に活用し習慣化して行く。
〇異学年活動を増やすとした。

『道徳・社会性の育成』では全国学力・学習状況調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」「自分には良いところがありますか」で、大きく改善している。
ただ、保護者アンケートでの「学校は情報公開をよく行なっている」に関しては改善はしているものの微増の状態でさらに取り組み強化が必要。
個別の取り組みに関しては学校のきまりに関しての指導、あいさつ運動や朝会時の指導等が効果を上げている。また、児童会活動等を通じて異学年が協力して活動できるように なってきた。
学校のホームページを立ち上げたことも情報公開の一歩前進と言える。

次年度への改善点として
〇子ども達の学校生活にメリハリ(けじめ)をつけさせる取組を構築する。
〇「あいさつ」については、学校・地域・保護者とともに取り組むようにする。
〇振り返りカード等の導入で自尊感情を育てる取組をよりすすめる。
〇異学年活動を多く取り入れ、リーダー性を育てる。
〇より「開かれた学校」に向けて情報公開をすすめていく。

『健康・体力の保持増進』に関してはシャトルランの記録も改善し、学校生活アンケートの「手洗いやうがいをしている」項目でも改善している。

また、個別の取組みにしても体力・運動能力の向上が見られ、手洗い・うがいに関しての必要性は強調週間やチェックカードを活用したりする事で意識が高まってきている。

次年度への改善点として

〇体育授業の中で、自分自身の体力や運動能力の伸びを実感して喜びを味わえるような指導法を工夫して、実践する。

〇かけ足運動を今後も継続して取り組む。

〇手洗い・うがいは、より習慣化をさせるため、継続して取り組む。

平成 26 年度から平成 28 年度までの取組み

3 カ年計画 2 年目の平成 26 年度では前年の反省に基づいて年間計画が作成された。

26 年度から 28 年度中間までは視点別にまとめてみた。

なお、平成 25 年度は**三つの視点**であったが、平成 26 年度からは**『保護者・地域連携への取り組み』を加えて四つの視点**とした。そして、目標には数値としての目標が設定できるものはできる限り数値目標を立てた。

視点１【　学力の向上　】

『平成 26 年度の計画』

〇習熟度別少人数学習への取り組み。

3・4 年、5・6 年に担当の教員を各 1 名配置、重点的にサポートする。

〇8:35-8:50 の「朝学習」への全学年あげての取り組みを行う。

〇学習環境の整備を推進する。

調べ学習用図書の充実、パソコンルーム、特別教室を整備し、活用する。

〇「算数科」の研究を全学年で取り組む。

平成 28 年度の支部教員研究発表会の発表校に指定されており、三年計画で取り組む。

〇教員の資質・能力の向上の為、全教職員は年 1 回の研修授業を実施する。

〇若手教員のサポート体制を確立。メンター、メンティの組織化を図る。

〇たてわり班の推進。
児童が積極的に関わり、活躍し、充実感の得られるような計画を作成し、高学年にはリーダーショップを、低学年には「仲間意識」を高める。

『平成 26 年度の結果分析と次年度への課題』
〇習熟度別少人数学習は年度はじめに年間計画をたて、学年・算数部で検討し計画通りに実施できるようにする。習熟担当者は授業を中心となってコーディネートする事が必要。実施の内容や方法について、より効果的な方法を工夫していく。内容については学年内で共通理解して行うようにする。
〇朝学習（火、金：計算練習中心、水：読書タイム）に関しては各学年で相談し、計画通りにできた。
〇学習環境の整備では図書の充実を行い、調べ学習がよくできるようになった。また、パソコンルームも使いやすくなって調べる活動がよくできた。
〇算数科の研究では授業研究を中心に算数の授業方法について全教職員で取り組み、発表やノート指導などを通し表現力がついてきた。
　次年度への課題としては、まだ調べる事に苦手意識を持つ児童がいる。調べ方や言葉の理解を促す等支援の工夫をしていく必要がある。
授業研究に関しては研究の視点を絞って研究に取り組み、児童一人ひとりの力を伸ばす手立てを工夫し、日々の授業力を向上させていく。
〇全教職員、年一回の研究授業実施に関しては計画的に進められ、教員間で参観しあう事で資質・能力の向上を目指すことができた。メンティーの会については五回の計画を上回る七回実施され、若手教員の資質・能力向上へと繋いでいくことができた。
　次年度への課題は、授業研究・メンティーの会は今後も計画・実施していく。特に若手教員を全体で支え合っていく体制が必要であり、メンティーの会では悩みやしんどさを語ることのできる場を増やしていく。
〇たてわり班活動では年間七回実施（たてわり班清掃を含む）、６年生が優しくリーダーシップを発揮して仲間意識が深まった。一方で４・５年生が高学年としての意識をもてるような働きかけが必要である。
　次年度への課題としては４－６年生が高学年としての意識をもてるよう役割分担をする。１－３年生も「なかま」という連帯感を持つことができるようにたてわり班活動を行う。その結果として、休み時間等に自然と声を掛け合えるような関係を目指す。

『平成 26 年度の校長経営戦略予算』
〇体力づくりとして、サッカーゴール、ボール等を予算化。
〇わかりやすい授業づくりとしては、プロジェクターと書画カメラ、デジタル教科書を予算化し、活用する。
〇学校図書館のデジタル化を図る。
以上を申請したが、残念ながら選考もれとなった。

『平成 27 年度計画』

平成 27 年度は新入学児童が多く、3 学級となり、特別支援学級(なかよし学級)も 1 学級増で 5 学級、計 18 学級となり加配教員が 1 名。更に新採用教員が 3 名配属された事で指導教諭が 1 名配置された。

より丁寧でわかりやすい授業を進めるため、習熟度別少人数指導に 3 人配置した。

また、一部保護者から若い先生が増えているがクラスで差が出るのではないか、という不安に対して学校としてどうするのかというご意見をいただいた。この事に対し、学校としては、学級を担任任せにせず複数の目で観るという事。一学年に学級担任、習熟度担当者(3―6 年)、特別支援学級担任を配置した。そして、特別支援学級担任も学級担任と入れ替わって学期ごとに 1 単元の授業をする事とした。そうすることで若手の育成にもなり、教員の指導力向上にもつながる。子ども達にも（特別支援担任を）自分たちの先生として意識させることができ、多くの目で子ども達を見ることができると考えた。

基礎基本の定着では

〇習熟度別少人数学習の取り組みを更に進める。

〇算数の授業を充実する。

毎回の授業研究に指導助言の先生に来ていただき、研究協議会を行い、毎日の授業を充実させる。

3―6 年に習熟度担当を配置し、実態に応じて形態や指導法を工夫した年間計画を立て実施し、基礎的基本的学力の定着を図る。

〇言語での表現力の向上。国語科では、言語能力をつける(言葉をより多く知るための工夫・書く事・読書・話す事)。算数科では、考え方をノートに書き、みんなの前で説明できるようにする。全体としては、調べたことを自信を持って発表する。

教職員の資質・能力の向上では

〇全教職員、年一回以上の研修授業を実施する。

お互いに参観、意見交換を行い、子ども達が「わかりやすい」授業を目指す。

〇若手教諭のサポート体制の確立し。お互いが講師となりあう研修会を実施する。月一回の若手集いの会を設定する。

学校・家庭連携の推進。基本的生活習慣を定着させ、学力向上につなげる。

〇家庭と協力し教育活動を行う。基本的な生活習慣と家庭学習の関連の重要性を家庭に発信する。中野小学校版の「家庭学習の手引き（なかのマスター）」を作成する。

〇魅力ある行事づくりのため、運動会、作品展等の大きな学校行事の後に「保護者アンケート」を各家庭に配布し実施する。

『平成 27 年度の結果分析と次年度への課題』

〇習熟度別少人数指導は単元、子ども達の実態に応じて取り組んだ。少人数、習熟度別学習により丁寧な指導をすることによって理解に時間のかかる子ども達の理解を進めることができた。また、２年目の算数科の研究授業は、指導法について学年中心に繰り返し検討し、よりわかりやすい授業を目指すことができた。

次年度への課題として、子ども達の実態に応じて習熟度別の学習形態（学年三分割、学級二分割、TT）を見直す事と支援を要する子ども達への支援の仕方を工夫していく事があげられる。

〇算数科では多くの子ども達が１時間の学習の流れがよくわかるノートの書き方ができてきた。自分の考えを書いたり、発表したりすることもできてきた。国語科では国語の授業だけでなく、日記指導、毎日の１分間スピーチなどの中で語彙を増やす指導を繰り返し行ってきた。

次年度への課題としては、算数科では発表ボードに分かりやすく書く指導、考えを発表して意見交換する機会を多くし、自分の意見を伝えられる指導をしていく。国語科では１時間の授業の中でどんな言語事項を身につけさせるのかを指導者が持ち、指導できるようにする。

〇研修授業の件、全教員が算数科中心に研修授業を行い、意見交換しながら互いに学び合い、日々わかりやすい授業を目指して取り組むことができた。

〇若手教員のサポートに関しては、定期的なメンティの会・集いを実施することができた。新任教員に関しても指導の教員や学年をチームとして組んだこともあり、落ち着いた学級運営を行なえた。

次年度への課題として、若手とベテランをどうつないでいくか、若手だけでなく全員で取り組めるような研修会を持つことにより、より充実した研修にする。

〇家庭学習の手引き「なかのマスター」を作成した。

家庭での勉強を促すものではなく、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯あいさつなど）を中心に中野小学校独自のものを作成した。家庭生活がしっかりしていると生き生きとした学校生活が送れるようになり、それに伴い学力向上に繋がるとの考え方から、「継続」する事が大切であり、毎月親子でチェックしてもらうようにした。「なかのマスター」を活用し、家庭との連携を図り、個人の課題について改善できるように指導をしてきた。また、「なかのマスター」の結果や分析を定期的に学校だよりやホームページで発信している事で、意識して取り組んでいただける家庭が増えた。また、親子の会話が増えたという声も聞かれた。

次年度への課題としてはやはり「協力がなかなか得られない家庭との連携を考えていく必要がある。

〇各行事の後のアンケートでは、前向きな意見や児童の励みになる内容が多くの、次年度への改善につなげることができ有効であった。

①　中野小学校版　家庭学習の手引き「なかのマスター」とは？

なかの
めざせ！Nakanoマスター

中野小学校　家庭学習チェックシート

（　　）年（　　）組（　　）

○ おうちの人といっしょに、毎月チェックしましょう。
○ チェックしたら、先生に出しましょう。
○ 先生たちも、◎がたくさんゲットできるように、おうえんしているよ。

		（◎　○　△）をつけましょう。	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
規則正しい健康な生活	1	早寝（低中9：00、高10：00ぐらい）・早起きができている。										
	2	毎朝、朝ごはんを食べて登校している。										
	3	「おはよう」「ありがとう」など、自分から進んであいさつができている。										
	4	外で体を動かして運動（遊び）をしている。										
	5	友だちに親切にしたり、仲よくしたりできている。										
	6	「遊びから帰る時刻、テレビを見る時間、ゲームをする時間、携帯やスマートフォンの使い方」など、家のルールを決めて、守っている。										
がんばる家庭学習	7	学校の宿題をきちんとしている。										
	8	学習の場所や自分の使ったものの整理整とんがきちんとできている。										
	9	学習中は、「テレビ、ゲーム、まんが」などは、なしで、集中してできている。										
家の人と	10	学校からの連絡やおたよりを家の人に必ずわたしている。										
	11	学校のできごと（学習のことも）を家の人によく話している。										
	12	家での自分の仕事（役割）をきちんとしている。										
今月は、◎の数、いくつかな？												
家の人のサイン												

5月版　「なかのだより」

5月の学校だより「なかのだより」で家庭学習の必要性と「なかのマスター」についての説明をした。

なかのだより 増刊 NO. 4

◆校訓◆ 正しく　明るく　たくましく

大阪市立中野小学校　℡ 06-6352-3258　平成27年5月29日

☆　家庭学習のすすめ　☆

「なかのだよりＮｏ．３」では、「知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進する」という今年度の中野小学校の教育目標をお知らせしました。　今回は、その中でも「知（学力の向上）」に焦点を当てたいと思います。

子どものよりよい成長は、保護者・学校・地域の共通の願いです。

中野小学校では、日々の学習を通して、「基礎基本の定着が図れるようにする」「学習したことを活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む」「「学習の仕方」を学び、学習に取り組む意欲を向上させる」等のめあてが達成できるように「わかる・楽しい授業」の工夫を行っています。

「確かな学力」の育成には、学校での学習の充実とともに、「家庭での子どもの生活習慣や学習習慣」なども大切になってきます。自主的に学習に取り組む姿勢が身に付くためには、子ども自身の努力も大切ですが、学校・家庭との連携・協力がひじょうに大切です。子どものよりよい成長のために、それぞれの役割を理解しながら子どもたちのために、私たち大人も努力せねばなりません。

そこで、中野小学校は、今回、「家庭学習のすすめ」と「家庭学習チェックシート」を作成しました。保護者のみなさまのご理解とご協力をお願いします。チェックシートは、お子様と一緒に毎日記録し、学校に持たせてください。

4つのポイント！

1．習慣を生み出す
○ 睡眠を十分とる
○ 生活リズムを整える

学習習慣が身に付くには、「早寝・早起き」や「朝食をしっかりとる」といった基本的な生活習慣が大切です。

2．ほめて・認めて・励ます
○「よくできたね」
○「このごろがんばってるね」

子どもは、「もっとよくなりたい」、「もっとできるようになりたい」という気持ちをもっています。少しでも「できた」ことを認めることで、子どもの学ぶ意欲や「自分もやれるんだ」という気持ちが伸ばせます。

3．学習しやすい環境をつくる
○ 学習する時間をつくる
○ 学習する場所の環境をつくる

子どもが学習する場所のテレビなどを消して、学習に集中しやすい環境をつくりましょう。子どもと、テレビやゲームについての約束をつくり、守らせることも大切です。

4．見守る、一緒に学習する
○ 学校での様子に関心を持つ
○ いっしょに読書する

お家の方の関心が自分に向いているかどうかは子どもにも伝わります。また、「自分が習った時とは違っているので・・・」「難しい・・・」という声もよく聞きます。「勉強を教える」ことよりも「勉強をしている姿を見守る」ことが大切です。がんばっている姿を認め、やさしく背中を押してあげることが大切です。

「家庭学習」をがんばると・・・

1．習ったことをわすれません。
学校で学習したことを家庭で復習することで、習熟・定着を図ることができます。特に、漢字や計算学習に効果絶大！

2．学ぶ習慣が身に付きます。
毎日決めた時間に家庭学習をすることにより、「おもしろい！」と感じることができるはずです。低学年のうちから続けることにより、基本的な生活習慣として身に付きます。

3．テレビ、ゲーム、携帯・スマートフォンと学習の切り替えができるようになります。
家庭学習の最大の敵は、テレビ、ゲームなどです。これらを見たり、使ったりする時間と「学習意欲・学習態度」とは、密接に関連しています。テレビなどの誘惑に打ち勝ち、我慢強さ、根気、集中力を養うために家庭学習をがんばりましょう。　親子で「読書」をする機会も持てるはずです。

4．家族でのふれあいの時間が増える。
音読を聞いてあげたり、分からないところを一緒に考えたり、調べたりすることにより、家族のふれあいができます。学校からの配布物にも目を通してあげてください。

	家庭学習の時間の目安（宿題も含む）	宿題以外の家庭学習のヒント・・・
1年生 2年生	１０～３０分くらい	教科書の音読（※声に出すことが大切）・日記や作文・視写（国語の教科書等の文章をノートに写す。）・ひらがな、カタカナ、漢字練習・計算練習（※おやつを分けるなど日常生活でも楽しい算数、九九の表を部屋やトイレの壁に）・読書・かんさつノート（花の咲く様子など）（※学習前に身の回りの整理整頓を。等も整いて机に向かう態度。）
3年生 4年生	３０～５０分くらい	教科書の音読（※よい姿勢、はっきりした声、場面の様子がわかるように等）・日記や作文（中心をおさえて）・視写・漢字、ローマ字練習・国語辞典を使う・計算練習（※九九が定着しているかチェック）・読書・かんさつ日記（植物や昆虫など）・自主学習（復習、興味があることの調べ学習等） （※地図を見て、テレビ等で話題が出たらその都度場所を探してみる。）
5年生 6年生	５０～７０分くらい	教科書の音読（※音読から朗読に。登場人物の心情、情景を考えて等）・日記や作文（自分の考えを明確にして）・漢字学習・国語辞典や漢字辞典を使う・計算練習（※間違った問題は必ずやり直すことが大切）・算数さがし（身の周りの比例、割合、立体等）・新聞やインターネットを活用した学習・ニュースについて話し合う・自主学習（予習、復習、社会科の調べ学習等）　（※学習が終わってから、遊ぶ、ゲームをする等のルールを決め、徹底させる。）

まずは、宿題をていねいにする習慣をつけましょう！

②　７月版「なかのだより」

７月の学校だより「なかのだより」で第一回目の集計を報告した。

なかのだより　7月号 NO. 6

◆校訓◆　正しく　強く　たくましく

大阪市立中野小学校　℡　06-6352-3258

平成27年7月2日

7月です！　もうすぐ夏休みです！！

６月は「ふれあい運動会」「なかのまつり」とＰＴＡ、学校主催の行事にたくさんご参加くださいましてありがとうございました。７月に入り夏休みも秒読み段階となってきましたが、今年の夏休みは例年以上にたくさんの予定が入っています。学校行事一覧をご確認いただくようお願いいたします。

それ以外ですが、各教室へのエアコンの設置工事が始まります。終業式の前くらいから８月の３週くらいで予定しています。また、体育館（講堂）の床面も改修します。表面を削って塗装してラインをひき直します。一部の方にはご不便をお掛けするかと思いますが、快適に、そして綺麗になりますのでご理解よろしくお願いいたします。

さて、１学期も終わりに近づき、９日から１４日で個人懇談会を予定しております。お子様の学校での様子、成長などについて、また５月から始めました「家庭学習チェックシート」についてなども担任とお話いただきたく思います。

そして、いよいよ夏休みです。予定は立てられましたでしょうか？夏休みは旅行、キャンプだけではありません。日頃読めない本をじっくりと読むのも長い休みならではです。親子で読むのもいいですね。大人はちょっと難しいかもしれない本にチャレンジしてみるのも・・・・。思い出に残る夏休みにしたいものです。

日	曜	行事等
2	木	林間校地診（５年）
9木10金 15木14木		学期末個人懇談会
13	月	わたしたちのカラダと下着の話（５・６年）
16	木	給食終了、大掃除
17	金	終業式
25土～ 27月		林間学習（５年）（ハチ北高原）
21（火）～31（金）（土日を除く）夏休みプール水泳指導 ○低学年　９：００～　９：４０　　○中学年　９：５０～１０：３５ ○高学年１０：４５～１１：３０　　○特進（学童水力記録会）１１：４０～１２：１０ （詳細は、別途プリントでお知らせします。）		
29	水	学童水力記録会（なみはやドーム）７：１０学校集合
8/3 月～ 8/7 金		やる気アップ学習会 （３年生３０名 10：40～12：40）
8/8 土～ 8/9 日		治まろう会
8/22	土	サマーカーニバル
8/26 水～ 8/28 金		学習教室（各学年１０名程度９：00～10：00）

7月&8月

※９月の行事予定は、学校だより NO. 7［７月号増刊］（終業式前に配布予定）に掲載します。

なかのめざせ！Nakanoマスター

～家庭学習チェックシートの５月分を集計してみました。～

今月の目標　後かたづけをきちんとしよう　～自分のために、みんなのために～

１．早寝（就寝９：00、遅10：00ぐらい）・早起きができている。
４．外で体を動かして運動（遊び）をしている。
７．学校の宿題をきちんとしている。
12．家での自分の仕事（役割）をきちんとしている。

（左の４点にしぼりました。）

数字は、%	1・2年生			3・4年生			5・6年生		
	◎	○	△	◎	○	△	◎	○	△
1．早寝、早起き	38.8	34.7	26.5	33.8	39.0	27.2	32.1	28.4	39.6
4．外で運動	74.1	21.1	4.8	71.3	25.0	3.7	65.7	20.1	14.2
7．宿題	85.7	11.6	2.7	70.6	24.3	5.1	67.2	29.9	3.0
12.家で自分の仕事	34.7	49.7	15.6	37.5	44.1	11.5	31.3	41.0	27.6

早寝、早起きが課題の中野っ子

朝から、疲れた表情で登校する子どもたちもいます。習い事等もあるかと思いますが、しっかりと睡眠をとり、「気持ちの良い朝」が迎えられればいいですね。

これからも運動しようね、遊ぼうね。

休憩時間の遊びから体力をつけたいです。「１日１回」は、運動場に出て遊びましょう。

高学年！！

homework

宿題を英語で言うと、こうなります。ホームってどういう意味ですか？「家」ですね。宿題は、お家でしてこそ意味があるのです。「朝学」の時や、休み時間に急いでしても力がつきません。

保護者の皆様、ご協力ありがとうございます。6/30（火）に６月分のチェックのため、再びお家に持ち帰らせました。ゆっくりと、お子様と振り返る時間をお持ちくださいね。

今日は何の日　フゥ　フゥ～♪♪　ひとつ５０円ぐらいのかき氷。私は、レモン味が好きでした。食べ終えたら、氷がのっていたお皿が食べられる仕掛け・・・せんべいのようなもなかのような。　黒いゴムぞうりを履いて母親、ちょっと離れた公園まで走ってラジオ体操に行きました。そうりで走ってもトレーニングなんです。夏が終わる頃には、鼻緒の部分だけ、足の甲が白くなっていたなあ。英語のＶの字の足跡に。　自由勉強、父さんが飲んだビールの本数を棒グラフに。何の勉強になったんだろう・・・？　せっかく、みんなと「YMCA」練習したのに、熱を出して、キャンプ行けなかった！「定転のＰＬ」「賓鳥、最後証言１８回」私は、夏の高校野球から日本地図を覚えたのです。　夏の思い出は、太陽が熱かった分（？）、いつまでも記憶の中に。遠い記憶なのに、その時感じたあの雰囲気、暑さ、肌ざわり、味、におい（！）までもが今だ頭のどこかに残っています。

今年の夏休みは、いつもより、ちょっぴり長めの夏休み。なんてったって夏休み！　夏休みは、子どもたちのもの！　もうすぐ子どもたちに強烈な印象を焼きつける夏休みが始まります。（た）

③ 平成 27 年度の「なかのマスター」運用状況

5/8　No3　なかのだより増刊号で学校・家庭・地域の連携の話を掲載。
5/29　No4　「なかのマスター」の内容を説明、「家庭学習チェックシート」を配布。
7/2　No6　なかのだより 7 月号で第一回目なかのマスターの集計結果を報告。
9/1　No8　なかのだより 9 月号で 7・8 月のなかのマスターの内容を一部紹介。
9/30　No9　なかのだより 10 月号で第二回目なかのマスター集計結果を報告。
12/1　No12　なかのだより 12 月号で 9・10 月なかのマスターの二重丸（◎）について学年別に集計して報告。

＊第三回目学校協議会にて「なかのマスター」の件、ＰＴＡ役員さんより「非常に良い取組で、◎について子どもとバトルしている」等、好意見が相次いだ。

『平成 27 年度校長経営戦略予算』

学力の向上として、3 から 6 年の 8 教室と習熟度別学習に使う 2 教室、計 10 教室への壁面取り付け型の電子黒板機能作プロジェクターとデジタル教科書を申請して認めてられた。設置が 28 年 3 月となったため、今年度での活用はできなかったが 28 年度からは積極的に活用していきたい。

なお、体力向上に関しての機材も同時に申請していたが、こちらは金額的な事もあり今年度見送りとなった。

『平成 28 年計画』

大阪市教育振興基本計画が 1 年延長された事に伴い、中野小学校の 3 年計画も 1 年延長する事とし、「平成 27 年度運営に関する計画」をベースに更に発展させる事にした。1・2 学年には 60 型 TV、3 から 6 年と習熟度別授業の 10 教室にはプロジェクターがついた事で学力向上に積極的に ICT を活用する事とした。また、3 年計画で取り組んできた「算数科の授業研究」も仕上げの年となり、平成 29 年 1 月の発表に向けて成果の取りまとめを進める。

英語教育に関しては 29 年 2 学期からのスタートとして今年度はじっくり準備する事とした。中核となる教員とステップアップ担当の教員には研修に参加してもらい、校内で伝達講習会を行う事とした。

基礎基本の定着については

〇算数の授業を充実させる。

授業研究を中心に研究を行い、授業力を向上し、毎日の授業を充実させる。
特に計算力を充実させる事と支援を要する児童のサポートを工夫する。習熟度別少人数の取り組みを更に充実させる。

〇言語での表現能力の向上。

国語科では言語能力を身につけるための方法を指導者全体で共通理解して指導する。
例えば、より多くの言葉を知るための工夫、文の構成の仕方、一人学びの方法など。
算数科では自分の考えをノートに書き、みんなで説明し合えるようにする。

教職員の資質・能力向上では

〇全教員、年 1 回の研修授業を実施（学級担任は必ず算数で）。お互いに参観、意見交換の実施。全教職員で目指すべき授業、目指すべき子どもの姿を共通理解し、系統的な指導で子どもたちが「わかる授業」を目指す。また、ICT・英語・各学習内容について、全教員で伝達講習会を実施し、誰もが、いつでも指導に取り入れられるよう共通理解する。

〇若手教員のサポート体制の確立として、月一回の若手集いの会を設定する。

学校・家庭連携の推進として

〇「家庭学習チェックシート（なかのマスター）」の内容をさらに充実させ、結果の分析や発信方法も工夫、基本的な生活習慣と家庭学習の関連の重要性を家庭に伝える。

『平成 28 年度の校長経営戦略支援予算』

3 月に 10 教室に設置されたプロジェクターをより使いやすく活用できるように、黒板に取り付ける「スクリーン」や使いにくい古いデジカメの入れ替えを申請して認められた。高額な品が無く、夏休み中にほぼ調達できた事から二学期に入り活用する場面が多くなっている。

『平成 28 年度中間報告』

〇算数の授業に関しては、学年・習熟の担当が連携し、改善点を見つけて取り組んできたので日々の授業が充実してきた。
一人ひとりの児童が学習したことを理解できるようにノート指導や家庭学習の点検をきめ細やかに継続して行ってきたので学習内容の理解が深まり、算数が楽しいと言える児童が増えてきた。

〇算数科に関しては、ノートの書き方が定着して、自分の考えをノートに書き、それを基にペアで話し合い、考えを交流できるように指導してきた。そのため自分の考えを式や図で書いて相手に伝えられる児童が増えてきた。
算数科のノートの書き方が充実してきた事が他の教科にもいい影響を及ぼしてきている。

〇国語科に関しては、言語能力を身に付けるための方法を全体で理解する場を持ち、国語科の授業が充実できるようにしてきた。
学年に応じて語彙を増やす取組みや、自分の考えを表現するための取組みを進めてきている。

〇夏季休業中の英語やＩＣＴの研修を実施した。来年度から始まるモジュール授業に備えている。

〇研修授業は計画通りに進んでいる。全ての討議会で活発な意見交流ができている。他学年との交流や指導者と意見交流を行う事で教職員の資質向上に繋がっている。

〇メンティの会は計画的に行われており、充実した時間となっている。

〇「家庭学習チェックシート（なかのマスター）」は計画的に発行されており、家庭と連携し家庭学習や基本的な生活習慣を見直すことができている。また、なかのだよりやホームページ等に結果や考察を発信し、学級指導にも活かせている。児童にもなかのマスターが定着してきており、◎がつくことを励みに頑張っている。

『後半に向けて』

●支援を必要とする児童のサポート体制を工夫し、低学年から学習内容が着実に理解できるような指導を考える。

●ペア学習や考えを深めるための、全体での交流の内容が充実できるようにする。

●国語科の習熟度別学習の時間が充分取れていないので工夫が必要である。

●英語やＩＣＴ等、研修を受けての伝達講習は非常に大切なので今後も取り組んでいく。

●なかのマスターのシートに関して、なかなか協力いただけない家庭に対しては、根気強く、シートの意義や親子での振り返りの大切さを話すようにしていく。

視点２【　道徳・社会性の育成　】

『平成 26 年度の計画』

◯規範意識の育成、から生活指導で年二回、月目標として取り上げ強調月間として子どもの意識を高めるとともに実行できるようにする。
◯基本的生活習慣の確立、から生活指導で月目標に設定して月間を通じて指導強化する。
◯特別活動、から自尊感情を育て、仲間を大切にする気持ちを育てる教育を進める。

『平成 26 年度の結果分析と次年度への課題』

規範意識の育成に関しては年 2 回の月目標として取り上げ常掲し指導した結果、児童の意識を高めることができた。しかし、強調月間以外は守れていないこともあり、今後は年間を通じて習慣として身につくよう継続して指導していく必要がある。
基本的生活習慣の確立に関しては、月目標に設定し朝会時や学級での指導、代表委員による挨拶運動を通じて大きな声で挨拶ができるようになってきた。しかし、これも上記規範意識同様、強化月間以外は声も小さくなりがちである事から、継続して指導していく必要がある。
自尊感情に関しては、各学年で目標を設定し、道徳の時間や終わりの会等で友達のいいところを見つけ、互いに認め合う場を設けるなど、自尊感情や思いやりの気持ちを育てる指導を行った。
その結果、自分や友達を大切にする心が育ってきた。次年度への課題としては、やはり一部（家庭環境などから）相手を傷つける言動のみられる児童がいるので、家庭とも連携をとりながら継続して指導を続ける必要がある。

『平成 27 年度の計画』

〇道徳教育では月ごとに生活指導の目標を掲げ、全教職員で指導に取り組み、子どもの意識を高める事ができるようにする。
〇特別活動では異学年交流を通して、自分や友達を大切にする教育を進め自尊感情を育てる。

『平成 27 年度の結果分析と次年度への課題』

〇生活指導では、毎週月曜日の児童朝会で伝えたり、学校内にいくつも掲示していたりと、子どもたちは月の目標を意識することはできた。ただ、意識することはできているが身についているかどうかには個人差がある。次年度に向けて、絶えず振り返りが必要である。また、教員自身も意識をし、学年・学級での指導が必要である。

〇異学年交流は年間を通じてたてわり班活動を行うことから活発にできた。様々な活動の中で高学年が低学年に優しく接している姿が多く見られ、高学年としての責任感を持ち、活動ができた。それにより自分でもできると自信を持てるようになってきた。

『平成 28 年度の計画』

規範意識の育成では

〇月ごとに生活指導の目標を掲げ、全教職員で指導に取り組み、子どもの意識を高めることができるようにする。教室での声かけ、指導を密に行い、児童が生活目標を意識できるようにする。また、生活目標が守れたかどうか児童が振り返ることができる方法を工夫する。

共に支え合える集団づくりでは

〇異学年交流を通して、自分や友達を大切にする教育を進め、自尊感情を育てる。

〇学級活動を中心に、自ら進んで物事に取り組む気持ちを育て、自己の役割に対して責任を持って果たしたり、集団のために貢献したりしようとする教育を進める事で自尊感情を育てる。

『平成 28 年度中間報告』

〇月ごとの生活目標を各クラスで振り返ることで大半の児童が意識して行動している。守れなかったと自己評価する事でこれから気を付けていこうという意識付けにもつながった。

〇生活目標の常掲、児童朝会や学級での指導により子どもの意識は高まっている。

〇異学年交流は、高学年にとって（なかのまつり等で）自分たちの立場を意識できる良い機会であり、低学年に対して優しく接しようとする気持ちや態度が育っている。

『後半に向けて』

●学級活動として十分な役割を意識して取り組んでいる児童が少なく、もっと改善していく必要がある。

視点３【　健康・体力の保持増進　】

『平成 26 年度の計画』

〇体力向上（持久力）への支援で学年ごとの長距離走の大会を計画し実施した。
休憩時間には運動場に出て遊ぶ事を児童朝会、学級指導で呼びかけた。

〇健康的な生活習慣の確立では、「うがい・手洗い」「ハンカチ・はな紙携帯」を重点的に指導する。また、強化月間を4回実施し、放送委員会、給食委員会と連携、児童朝会、児童集会での啓発を実施する。

『平成26年度の結果分析と次年度への課題』

体力向上に関しては、例年実施しているマラソン大会の名称を「なかのRunningFestival」に変更し近くの毛馬桜宮公園での大川沿いを走ることとした。コース、学年別の距離も見直しを行なった。そして、その前の2週間、20分休憩に運動場を走る「なかのRunningWeeks」を実施した。音楽を流し、教職員も一緒に走ることでみんなが楽しく走ることができた。「RunningWeeks」を実施したことで、走る事、体を動かす事が楽しいと感じる児童が増えた。

次年度への課題としては、休憩時間に運動場に出て遊ぶことを呼びかけること。また遊び道具の整備を行う事。

健康的な生活習慣の確立 に関しては、保健だよりや強化月間、がんばりカードでの意識づけを行うことで、うがい・手洗いの励行が身についてきた。

ハンカチ・はな紙の携行については児童に引き続き指導していくと共に家庭への啓発も続けていきたい。

『平成27年度の計画』

〇体力向上に向けて、全学年で「なかのRunning Festival」を実施する。新たにペア学年でなわとびをする「なかのJumping Weeks」を行う。

また、登校後の朝の時間や、休憩時間に1日1回は運動場に出て遊ぶことを学級指導だけでなく、児童朝会や放送委員会と連携して呼びかけを実施する。

〇健康な生活習慣の確立に関しては、「うがい・手洗い」「ハンカチ・ティッシュの携行」を重点的に指導し、強化月間を3回実施する。指導強化月間み合わせて学年だよりで家庭に啓発する。放送委員会、給食委員会と連携し、児童朝会、児童集会でも児童に啓発する。

『平成27年度の結果分析と次年度への課題』

〇「なかのRunning　Festival」を実施した。事前の「なかのRunning Weeks」(練習)は昨年2週間行なったが、今年は1週間とした。「Jumping Weeks」は1年・6年、2年・4年、3年・5年をペア学年とし、ペア学年で練習したり、音楽に合わせて跳んだりすることで、休み時間に進んでなわとびをする児童が増えた。

また、1日1回運動場で遊ぶことの声掛けやみんな遊びのの時間を設ける事で外で遊ぶ児童がふえた。

運動する習慣も少ずつ身につき、体力の向上も見られる。しかし、始業前に遊ぶ児童はまだまだ少ない。次年度への課題である。

〇健康な生活習慣に関しては、強化月間の実施や学級指導、健康委員会の委員会での啓発により児童の意識は高まった。特に給食前の「うがい・手洗い」への意識は高くなった。
　次年度への課題としては、外で遊んだ後の「うがい・手洗い」への意識づけを重点にしたい。また、強化月間以外での「ハンカチ・ティッシュの携行」への意識が低く、学校だよりや学年だより、ホームページなどを使って家庭への啓発を引き続きしていく必要がある。

『平成 28 年度の計画』

体力向上への支援では

〇体力向上に向けて体育科の授業の工夫・改善として、20 分休みに「Running Weeks」や「Jumping Weeks」を実施する。また、全学年で「なかの Running　Festival」を実施する。

〇一日一回は休憩時間に運動場に出て遊ぶ事を、学級指導に加え、放送委員会や運動委員会と連携して呼びかける。

健康な生活習慣の確立では

〇「うがい・手洗い」「ハンカチ・ティッシュの携帯」を重点指導する。強化月間を 3 回実施する。合わせて学年だよりに掲載し、家庭へも啓発する。また、放送委員会、給食委員会と連携し、児童朝会、児童集会での啓発を実施する。

『平成 28 年度中間報告』

〇各学年でみんな遊びなど外に出て遊ぶ取組みを行っている。また帽子をかぶって遊ぶ児童が増えた。
校費で一輪車３６台、竹馬２０セット購入できたため、古いものと入れ替え低学年児童中心によく遊んでいる。

〇ハンカチ・ティッシュの携帯は家庭への啓発を続けたことで「なかのマスター」の集計結果からは数値が高くなった。

〇がんばりカードや生活アンケート、委員会からの呼びかけがあると意識付けできるので、繰り返し行っていく。

『後半に向けて』

●「外に出て遊ぶ」は「なかのマスター」の集計では高学年ほど低い数値になっている。

●外に出ないのは固定のメンバーで対応策を考える。

●「なわとび」「マラソン」は今からなので、計画的に実施していく。

●無記名の落し物が多く、物を大切にするという観点からも記名を呼びかけ落し物を減らす。

●「うがい」「手洗い」は意味を理解させる工夫が必要。特に、現状うがいをしている児童は少なく、風邪季節を前にこれからの取組みで健康な生活を送れるようにする。

視点４【　学校・家庭・地域との連携　】

平成25年度までは道徳・社会性の育成の中で取り組みを行ってきていた。平成26年度からは第4番目の視点として強力に進めていくこととした。

『平成26年度の計画』

〇土曜授業を年間6回行う等、学校公開の日数を増やす。また、運動会等の学校行事には地域の方に参加していただき、教職員もPTA、地域、子ども会等への積極的な参加を目標にする。

〇情報公開への取り組みとして、平成25年度中に学校ホームページ開設して約4,000ページビューであった。2年目として見ていただく回数に目標を設定して、教職員も全員協力体制を目指した。目標を15,000pvとする。

〇「学校だより」「学年だより」に関しても紙面の見直しを行い、情報発信を強化する。

『平成26年度の結果分析と次年度への課題』

〇学校公開、土曜授業は計画通りに実施できた。また、学校行事やPTA、地域、子ども会等の行事を通して学校、保護者、地域の連携が取れるようになってきた。
11月の土曜授業(学校公開)で初めて地域と連携した「清掃活動」に取り組んだ。学校周りの公園やJRの線路沿いの清掃を行なったが、事前連絡の不徹底から地域の方に「ちゃんと連絡してくれていたらみんなで協力してできたのに・・・」などの声もいただいた。次年度への課題としては、参観や土曜授業の内容に関して保護者の要望等も取り入れた見直しを検討する必要がある。地域清掃に関しては全10町会への連絡を確実に実施して行いたい。

〇学校ホームページに関しては、目標とした15,000pvを上回る1,8000pvとなった。夏の林間学習や秋の修学旅行でも現地からリアルタイムで情報発信を発信できるので保護者から非常に好評であった。「学校だより」「学年だより」も確実に発行され、学校から発信する情報量は飛躍的に増えた。次年度への課題としては、各学年バランスよくホームページの更新ができるシステムを構築していきたい。掲載の担当者を教務主任に固定して、原稿や写真は全学年から発信できるよう研修会等の場を設ける。

〇地域連携の一環として、中野敬老会の方をゲストティーチャーとして招いて「昔遊び」「七輪による火起こし体験」を実施した。

『平成27年度の計画』

〇年間6回実施する土曜授業の内容を見直し、町会との連携、独居老人の学校招待等実施する。地域の方をゲストティーチャーとして招き、出前授業を充実させる。
〇中野小学校版「家庭学習の手引き」を作成する。・・・・・・学力向上と連携。
〇教職員がPTA、地域、子ども会等の行事に積極的に参加する。
〇地域の方を積極的に学校行事(なかのまつり、作品展など)に招待する。

『平成27年度の結果分析と次年度への課題』

〇年間6回の土曜授業に関しては計画通りに実施できた。地域清掃では中野10町会全部に連絡を取り、協力していただいて実施できた。また、独居老人を運動会に招待しようとしたが困難であったため、町会の掲示板に児童が描いた運動会のポスターを貼らせて頂いたが、非常に好評で、当日もたくさんの方に参観いただいた。
ゲストティーチャーに関しても中野敬老会の方に「昔遊び」「七輪火起こし」、都島区社会福祉協議会さんには「車椅子体験」「認知症の授業」を、防災訓練では大阪医大の先生にAEDを使った救急救命訓練を実施していただいた。「出前授業」が充実すると共に、平成28年の入学式では2年生が、教えていただいた「昔遊び」を披露して1年生を歓迎する事で、ご来賓の敬老会の方を感激させるなど、地域との繋がりが強化された。
〇教職員の地域行事への参加人員も増えて、PTAのふれあい運動会、泊まろう会、地域のサマーカーニバルなどでは子ども達、保護者さん、地域の方々との一体感が高まった。
〇ホームページに関しては学校の日々の様子が写真、文章で毎日のように発信され、充実したものになってきた。約22,000pvと目標を超えることができた。

『平成28年度の計画』

学校・保護者・地域の連携では
〇年間6回の土曜授業(学校公開)を実施する。
〇地域の方をゲストティチャーとして招き、出前授業を充実させる。七輪体験、車椅子体験、昔遊び、戦争の話など。
〇教職員はPTA・地域・子ども会の行事に積極的に参加する。ふれあい運動会、サマーカーニバルなど。
〇地域の方を積極的に学校行事に招待する。運動会に加え、なかのまつり、学芸会など。
〇中野小学校版「家庭学習も手引き（なかのマスター）」を配布し、家庭と協力して教育活動を行う。
〇地域の行事に参加する。9月の敬老の日の行事に子ども達の参加を計画、実施する。
情報公開への取組みでは
〇中野小学校ホームページを更に充実させる。全学年が記事を投稿し情報を発信する。年間22,000Pvを目標とする。
〇「学年だより」、「学級だより」で情報を発信する。

『平成 28 年度中間報告』

〇土曜授業は計画通りに実施できている。

〇地域の方との交流でも朝のあいさつや命の授業などで交流を図ることができている。

〇地域の行事では、教職員が意欲的に参加することができ、盛り上げることができている。
　また、敬老会でも準備など大変なこともあったが初めて参加することができた。

『年後半に向けて』

●出前授業に臨む際、事前学習がより効果を上げるために必要である。

●学校全体で取り組むという意識がもっと必要である。一部の教職員に負担が大きい。

●ホームページにはもっと普段の授業をアップした方が良い。